

令和7年度文理探究科始動!

(現サイエンスコースを刷新)



発行所
兵庫県南あわじ市
兵庫県立
淡路三原高等学校
同窓会
印刷所 松栄印刷

住所の変更が
あった場合は本
部へご連絡下
さい。

社会が求める学びは オモシロイ

文理探究科

Awaji Mihara High School
兵庫県立淡路三原高等学校
(文部科学省普通科改革支援事業指定校)

何を学ぶか

文科省認定の未来を切り開く5つのオリジナル科目。
ふるさとを基し、国際社会を知り、
3年間でゆっくり自分と向かい合う。

- Sagas ラボ**
探究活動の基礎となる
理学的実験手法の基礎を学ぶ。
- データ・サイエンス**
情報技術を駆使し、前にある
データに意味を与える。
- 読解 Integral**
国語科と英語科の融合科目。
社会問題に関する情報を心で読む。
- Sagas ゼミ**
各教科で得た知識を組み合わせて、
自分だけの課題に向かいあう。
- Sagas プラス**
発見した「問い」と「答え」を
言語化し、大学入試に備える。

文系とか
理系とか
役に立つとか
立たないとか
そんなことより
「好き」を選べば
見えてくる

文理探究科
オープン・ハイスクール
10月19日(土)開催
申込締切 10月2日(水)

文部科学省からカリキュラム内容が認められ、3年間の普通科改革支援事業推進校に指定されました。

基礎学力に加え、思考力、表現力を育て、大学入試はもちろん、社会で求められる人材を育成します。

教科の枠を超えた実践的科目の設置、大学・企業との連携で生まれる新たな進路開拓など、普通科ではできなかった学びが実現します。

同窓会の皆様方には、災害級の暑さを今年も涼しく乗り切られ、いよいよお元気に過ごされていくことを存じます。平素は、同窓会の活動に對しまして格別のご高配をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、今夏の7月初旬には、従来からの5年ごとの刊行計画に基づき、「平成6年版 兵庫県立淡路三原高等学校同窓会(黎明会)会員名簿」の発行をいたしました。お手元に届いていますが、同窓会会員名簿は、本校と同窓会を結ぶ大切なものでございます。どうぞご理解のうえ、母校と

校長 大塚 剛 啓

同窓会の皆様には、素から本校教育活動に對するご理解・ご支援を賜り感謝申し上げます。本年度4月に校長として着任しました大塚剛啓と申します。令和3、4年度に教頭として本校に勤務させていただきました。昨年度は、明石清水高校で校長として勤めた後、1年で戻っていただくことができました。初任校が三原高校で、志知高校ならびに統合した淡路三原高校でも勤務していた者として、本校校長として着任できましたことは、この上ない喜びです。「地域に信頼される学

ご挨拶

同窓会長
太田 良一
(三原 二十一 回生)

同窓会員の皆様方には、災害級の暑さを今年も涼しく乗り切られ、いよいよお元気に過ごされていくことを存じます。平素は、同窓会の活動に對しまして格別のご高配をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、今夏の7月初旬には、従来からの5年ごとの刊行計画に基づき、「平成6年版 兵庫県立淡路三原高等学校同窓会(黎明会)会員名簿」の発行をいたしました。お手元に届いていますが、同窓会会員名簿は、本校と同窓会を結ぶ大切なものでございます。どうぞご理解のうえ、母校と

の関わりや同窓生間の交流の輪が拡大することを願っています。関係者によれば、現在の会員数は約32,000名に達しているとのことであり、会員の皆様方はもとより、たくさんの関係各位の方々のご協力があったからこそ賜物と思っております。ここに改めて厚くお礼を申し上げます。

続いて、学校及び現役生徒たちへの支援ですが、島内高等学校のいずれの学校も定員割れの厳しい状況にある今、私たちの母校である淡路三原高等学校の「魅力」に少しでも貢献していかなければならぬと考えており、先生方とのコミュニケーションを密にし、最も効果的な学習活動環境整備と思われる支援を行っていただくことを目指しています。具体的には、①会議室のエアコン設置、②学校案内のアップロード作成、③進路選択のための「総合的な探究の時間」校外学習(Sagasツアー)などの諸事業に對する支援を本年も行うことといたしておりますので、ご理解とご支援をお願いいたします。

校づくり「生徒の可能性を伸ばす教育」を柱に、教職員一同で本校の教育活動をしつかり行ってきたと存じます。

さて、今年度は新入生180名を迎えて、全校生552名在籍でスタートしました。5月2日に淡路三原高校創立20周年の記念式典を行い、記念講演として、三原高校60回生の久我アレキサンダーさんにお越しいただき、「自由な生き方、主体的な選択と積極的な挑戦」と題してご講演いただきました。久我さんは三原高校在学中、陸上競技の全国インターハイ800m競技で6位に入賞され、現在は愛知県立大学で講師をされています。高校時代の話をそれ以降の活動についてお話しいただき、生徒が今後の進路を考えるうえで大変

いたします。

ここで突然ですが、「淡路の偉人!武岡豊太郎を顕彰するフォーラム」の開催についてのご案内をさせていただきます。このような機会は少ないと思っておりますので、どうぞ同窓会会員の皆さんにもご参加をいただければ幸いです。ご参加をいただける方は、資料(チラシ)につき案内資料(チラシ)を各公民館や図書館等に備え付け配布していただきます。なお、淡路三原高等学校の教職員の方々や現役生徒諸君についても、各1枚のチラシを配布済みです。

①開催日時
令和6年11月17日(日)
13時30分~16時30分
(受付13時~)

②開催場所
南あわじ市市地区公民館(旧南あわじ市中中央公民館)

③主な内容
基調講演
講師:田辺真人氏
(兵庫県立兵庫津ミュージアム名誉館長)

演題:「街のお宝を活かした地域振興」

パネルディスカッション
コーディネーター
田辺真人氏
パネリスト
木田 薫氏
佐々木良作氏
鶴澤友吉氏
投石文子氏
前田幸一氏

資料展示
市地区公民館
1階ロビー

④参加申込等
参加費無料
(但し、要事前予約申し込み詳細は、チラシ参照)

以上、「武岡豊太郎を顕彰するフォーラム」の参加案内も兼ねた形でのご案内とさせていただきます。同窓会各員各位のご健康と益々の活躍をご祈念申し上げます。ごあいさついたします。

めになるご講演でした。部活動では、陸上競技部で女子やり投げ2名、女子ハンマー投げ1名、男子やり投げ1名の計4名が近畿大会出場するという快挙を成し遂げました。また、水泳部で2年生の津田琉生君が200m自由泳で、1年生の村上遥香さんが女子50m自由泳と100m自由泳の2種目でそれぞれ念願の全国インターハイ出場を果たしました。

本校では、現3年生から導入された「総合的な探究の時間」の取組に力を入れていきます。南あわじ市や大学など連携し、南あわじ市の課題を探り、その解決策を市役所に提案する活動を行っており、今年度は7月下旬、「Sagas 地域発表会」にて、市役所の方々だけでなく地域の皆様にもご来校いただき、発表会を行いました。

また、昨年度から「Sagas ツアー」と題して研修旅行を行っております。今年度は、8月に、広島、関西、東京の3方面に分かれて研修に出向きました。広島大学でのワークショップ、マツダでの開発者の懇話会、チームラボ企業訪問、筑波大学、東京大学でのワークショップ、大阪大学のワークショップ、京都大学でのワークショップ、島津製作所での見学ツアーなどを実施し、生徒たちは淡路島内では経験できない貴重な体験をし、大きな刺激を受けてきました。

さらに、話題としては、来年度入学生からサイエンスコースが文理探究科に改編されることになっております。文理探究科では、文理融合の学びを進め、探究の時間を3年間で7単位取り組む予定ですので、例えば、理科の実験手法の基礎を学ぶ「Sagas ラボ」、「データサイエンス」、「国語と英語の融合科目」(読解Integral)

淡路三原高校同窓会のホームページ
<https://awajimihara-dosokai.jimdo.com>
アドレスが変わりました。
淡路三原高校のホームページからもアクセスできます。
<http://www.hyogo-c.ed.jp/~awajimihara-hs/>

同窓会本部及び
支部連絡先

本部 六五六一〇四六一
兵庫県南あわじ市市町四丁三
三原支店 三原支店
兵庫県立淡路三原高等学校
同窓会
電話(三原)三〇〇四八〇
FAX(三原)三〇〇三三三
郵便振替口座
〇一五〇一五八五七九

三原支店 六五六一〇四八三
南あわじ市志知中島六六二
別所 敬二(三原22)
電話(三原)三三三三三

南淡支店 六五六一〇五〇一
南あわじ市福良甲
電話(南淡)六二四一四

阿部 員久(三原27)
電話(三原)六五六一

西淡支店 六五六一〇六五二
南あわじ市伊加利一八四二
前田 和義(三原24)
電話(三原)五〇五六四

緑支店 六五六一〇六一
南あわじ市後志井三三二
橋 大尚(三原37)

津名支店

洲本支店 六五六一〇二〇一
洲本市納七〇七
木戸 清隆(三原24)
電話(三原)五〇五九二四

神戸支店 六五六一〇〇四六
神戸市中央区港島中町
三二二一六エグザイル
電話(三原)二六四四五

橋田 之宏(三原23)
電話(三原)二六四四五

大阪支店 五六一〇〇〇一
大阪府摂津市千里丘
電話(三原)四九一八六〇二
阿部 貴久(三原27)
電話(三原)三三三三三

京都滋賀支店
六〇六〇九〇四
京都市左京区松ヶ崎
庄 司 俊 作(三原23)

東京支店 一〇〇一八二三六
東京都代田区大手町一
パベルデザイン アンダー
ン・毛利・友常法律事務所
電話(三原)三三三三三

奈良支店
電話(三原)三三三三三

東海支店 四六〇一〇二二
名古屋市中区千代田三三
一三三三三三三
千代田六〇五
阿部 智彦(三原24)
電話(三原)三三三三三

支部だより

東京支部

支部長 博之

東京支部(ゆづるは)は、6月8日(土)正午から、令和6年度の総会・懇親会を市ヶ谷の私学会館で開催しました。今年度は、会員の出席が30名、ゲストも含めると34名の参加となりました。淡路三原高校からは大塚剛啓校長先生にご参加いただき、さらに、太田良一同窓会長、また東京兵庫同窓会、また英明幹事、兵庫東京事務所の長、今後元彦様にもご参加頂きました。総会では、大塚校長先生に来賓挨拶をお願いし、淡路三原高校が着々と地域の拠点校として、充実した教育活動がなされていること、新制淡路三原高校として18年目、また、大正8年(1919年)の創設時から105



年目という伝統を承継していること、令和7年度から文理融合コースとして従来の「サイエンスコース」を「文理探究科」に改編し、進学就職指導がなされていることなどの紹介を行いました。また、生徒の探求心を深めるために、Sagasツアーとして東京、広島、関西地区で企業訪問や大学でワークショップを開催し、生徒の自発的な活動で単位が取得できるようにすること、またスポーツにも力を入れており、インターハイにも2名が残場するなど実績を残しており、文武両道を秀でていること、こととして、AIなどの情報技術の急激な発達に対応するための県立学校環境充実応援プロジェクトとして「ふるさとこよろご寄付金」制度の紹介

などがなされました。次いで、恒例の集合写真の撮影を行い、懇親会に移りました。懇親会の冒頭、ゆづるは同窓会長の太田良一様(21回生)から、ご挨拶をいただき、乾杯の音頭をお願いしました。懇親会の場では、参加者の多くも若い会員が平成28年卒業の斎藤勇樹様というごことで、かなり若返りが図られたように思います。また、兵庫同窓会の平谷幹事からも、故郷とつながりが持てるようにふるさと納税のお話をいただき、兵庫同窓会の参加など呼びかけがあり、一気には兵庫同窓会、淡路島の話題で盛り上がりしました。

東海支部

支部長 阿部 智彦

東海支部では、第20回(第12回淡路三原同窓会)総会・懇親会が11月12日(日)13時よりKKR名古屋ホテルにて開催されました。昨年は、コロナ禍という厳しい状況の中での開催(参加会員10名)でしたが、コロナ解禁となった今回は、奈良県から廣川宣昭氏(16回生)の参加を頂き、計12名のもので開催となりました。

総会では、冒頭、東海支部発足当時から長年にわたり支部の運営に携わり多大なご尽力を頂き、2023年3月に逝去された米田英夫氏(16回生)への感謝と哀悼を込めて参加者全員で黙祷を捧げました。引き続き、支部長挨拶、会計報告、校歌の斉唱が行われました。校歌の伴奏は、

いつも荒内順子さん(16回生)のオカリナというのが定番でしたが、今回は船ヶ山昌子さん(24回生)のオカリナも加わってより迫力のある伴奏で斉唱となりました。懇親会では、食事を頂きながら各参加会員の近況報告や過去の思い出話に花が咲き、ほかに健康の秘訣、簡単な算数ゲームなど、とても和やかに楽しい一時となりました。

東海支部の課題は、「支部同窓会の維持・継続」です。2001年の第1回開催当初は、730回生までの幅広い年齢層の参加(21名)があり、その平均年齢は55歳でした。昨年の第20回開催では、7、24回生の参加(12名)、平均年齢は77歳と参加会員の減少と高齢化の進行により支部同窓会の存続が懸念されています。今、求められているのは、同窓会の本来の目的である幅広い年代の会員での参加のもとでその活動が長く維持・継続されることです。今年、5年振りに発行される新同窓会会員名簿に期待しています。新しい会員の方々、特に若い会員の方々に声をかけさせて頂き、今年度の総会も11月の第二日曜日にKKR名古屋ホテルでの開催を予定しております。東海4県で活躍中の会員の皆様方のご参加をよろしくお願致します。

京都滋賀支部

支部長 庄司 俊作

京都滋賀支部の2023年同窓会を11月12日(日)、京都ガールズパレスにおいて開催しました。同会には武中聖子校長、太田良一同窓会長に参加



していたいたばか、初参加の大学生4名を含む多くの会員が参加しました。懇親会に先立ち、会則に基づき支部総会を開き、2023年度決算報告と2024年度予算案を提案し承認されました。また、参加者の皆さんから支部活動について意見と要望をお聞きしました。懇親会では太田会長と武中先生の来賓挨拶に続き、前支部長の鳥井清司氏から乾杯の音頭を兼ねて挨拶をいただきました。その後、淡路三原高校の近況と目標3題として武中先生から現在の母校についてご報告がありました。懇親会では食事・歓談しながら出席者より自由に自己紹介や近況、参加への感想、支部同窓会への期待などを出し合って楽しい時間を過ごしました。

今後の活動に関して、3点指摘します。南あわじ市でも中学を卒業すると明石や神戸の高校に進学する生徒が増え、母校では生徒の確保に苦慮しているとのことでした。予想されたこととはいえ、武中先生のお話をうかがい驚き、また、明石や神戸出身の知人に聴くと、たしかに淡路から通学してくる高校生は少なくないようです。橋がかり高速道路を利用して1時間半前後で通学可能となることから避けられなくなることかもしれません。地域での発展・維持にとっても重大な問題であり、適切な対応策が求められるのではないのでしょうか。

2点目は、同窓の学生や若い仲間に対する支援です。人生の先輩として生活や就職への支援ができることがあれば、京都支部としても積極的に取り組むつもりです。今年も若者の同窓の集いを考えているのですが、京都地区に進学、就職した若い仲間のリストを速やかにお知らせいただくとありがたい。これは

大阪支部

支部長 阿部 賞久

2024年の正月1日の能登半島地震から半年が経ちました。300人近い死者が出ました。お亡くなりになりました。お方々のご冥福をお祈り申し上げます。また、被害に遭われたみなさまが、まだまだ不自由な生活を強いられていることに、心からお見舞い申し上げます。

7月に入った今年も全国各地で異常気象が発生してあります。『備えあれば患いなし』のこのわざの通りに、怠りなく災害に備えたいものです。また、母校の生徒のみならず、1学期の期末テストの最中かもしれないですね。校長先生をはじめ、教職員のみならず、今年度始まりの3ヶ月を、順調に歩んでこられたこととお喜び申し上げます。

同窓会大阪支部は、今後の活動をどのようにしていくのか悩んでおります。大きな支部であり、適切な対応策が求められるのではないのでしょうか。同窓会大阪支部は、今年度の総会をどのように開催するか悩んでおります。大阪支部は、今年度の総会をどのように開催するか悩んでおります。大阪支部は、今年度の総会をどのように開催するか悩んでおります。

大阪支部の組織再編成を行います。その中で、神戸支部、京都支部、滋賀支部の役員の方々と相談しながら、3支部合同総会を実現したいと思っております。



神戸支部

支部長 橋田 之宏

今年度は、能登地方で発生した大地震で被災されました。被害を被った皆さまに心からお悔やみを申し上げます。神戸も29年前に大きな地震に見舞われました。今は大変ですが、必ず復興することをご信じて、乗り越えていきたいと思います。

そのような2024年ですが、ようやくコロナ禍による活動自粛も影を潜め、以前のような生活が戻ってきたように感じます。この調子なら、かねてより企画していた京都・大阪・神戸三支部合同の総会も開催することができそうです。現在は三支部間で調整していますが、具体的な方向性については各支部で調整する必要があります。支部の活動もこの4年間は休眠状態でした。まずは支部役員相互の肩慣らしから始める必要があると思っております。支部役員の方は心づもりをお願いいたします。

また、これをご覧になっている京都・大阪・

母校職員異動

離任された先生	着任された先生
校長 武中 聖子	校長 大塚 剛啓
事務局長 高嶋 登志美	事務局長 羽坂 公孝
ご退職	淡路高校より
坂田 裕之	仲野 克彦
ご退職	洲本高校より
澤田 亜希子	野口 抄代
洲本高校へ	淡路高校より
河野 晃	木林 千勢
洲本実業高校へ	津名高校より
石川 誠吾	近藤 浩子
北須磨高校へ	津名高校より
権田 夏美	林 友哉
津名高校へ	洲本高校(定)より
仲山 英里	出水 秀明
淡路高校へ	鳴尾高校より
山本 里華	新採用
北摂三田高校へ	新採用
長生 佳耶	芝 彩乃
山崎高校へ	新採用
森田 智子	藤原 愛美
淡路高校へ	新採用
高坂 敏子	金戸 雅史
鳴尾高校へ	
笹山 佳暉	
あわじ特別支援学校へ	

三十六回生同窓会開催

令和6年1月7日(日)に休暇村南淡路で36期3年3組の同窓会を開催しました。高齢ながらもまだ元気な正井良徳先生(元担任)もご出席され、思い出話に花を咲かせました。これまでも数回同窓会をしましたが、今回は、俳句の世界でも活躍の正井先生に俳句のお話を事前にいただき、「正井組プレバト」大会を開催しました。参加者から多数の俳句が寄せられ、その中で良い出来の俳句に「才能あり」の評価をいただきました。一句一句、俳句の奥深さを感じられる機会となりました。



十五回生卒業記念品紹介

淡路三原高校十五回生の皆様より、卒業記念品として人感センサー付階段灯を3基寄贈していただきました。部活時や下校時に暗かったB棟西階段に設置し、生徒が安全に通行できるようにいたしました。大切に使用させていただきます。ありがとうございます。



活躍する同窓生

山形 和也さん 三原54回生



この度は、高校時代に進路指導をして頂いた馬部先生からお話を頂き、同窓会報に寄稿する機会を頂きました。本当にありがとうございます。

私は平成14年3月に三原高校を卒業した54回生になり、現在は、海上保安庁入庁し海上保安官として勤務しています。

せっかくの機会ですので、海上保安庁という機関について少し説明させていただきます。当庁の業務としては、主に領海の警備、海上犯罪の取締、海難の救助、環境保全、海洋調査、船舶航行の安全確保、海図の作成等様々となり、よく海の警察・消防と言われますが、警備のことなら何でもしています。最近では国内だけでなく東南アジアや南太平洋の国々の海上保安機関に職員を派遣し、組織作りや強化などの活動も行っています。ちなみに海上保安庁は戦後初めて出来た国の機関で、今現在まで体制を大きく変えることなく続いてきた珍しい国の機関でもあります。

海上保安官は全国に約14000人おりますが、巡視船等に乗って業務しているのが約半数で、他は全国の海上保安部等で勤務しています。

私はというと、高校を卒業してすぐ、海上保安官を養成する海上保安学校(警察学校・消防学校のような所)に入り1年間の教育を受けました。

そこでは、朝6時30分に全員で起床し、夜10時30分に消灯になるまですべてが団体的行動で分刻みのスケジュールをこなす全寮制の学校

で、昼間は、海上保安官としての法律、船乗りとしての知識・技術の授業や犯人逮捕の際の制圧術、水泳、カッター等の訓練等様々な目課をこなさなくてはなりません。夏には3マイル(約6キロ)の遠泳訓練として海を日中泳ぎ続ける訓練や、冬には耐寒訓練として夜明け前に上半身裸で走り続ける訓練もありました。高校時代は運動とはほぼ無縁で、ぼつぼつとやらなかった私ですが、卒業する頃には体重が20キロも落ち自分で言うのもなんですが、心身共に見違える様でした。

現場に出る前は巡視船に乗り、犯罪の取締や海難救助に携わりますが、当庁の救助隊員である潜水士という職種を目指すようになってきました。当時は、一昔前に流行った「海猿」が放映される前、潜水士はきつい職種として当庁の中でも嫌悪される職種であったことから「珍しく希望する若手が来た」ということで、あれもあれもという間に、潜水士になりました。(翌年、映画が放映されて以来、超人気職種になり、運が味方したと思っております！)

様々な海難現場を経験するなかで、救急救命士という資格に興味を持ち、2年間専門学校に通い資格を取りました。その後は、全国の航空基地に配置されていく「機動救難士」という職種に就き、ヘリコプターに同乗し、海上で起こる事故で発生した傷病者の救助や急患の救助などを担当してきました。時には、沈みそうな船に乗り移ったり、波高5mの中泳いで救助に向かったり、潜ったらサメが

いたりと危険な現場もありますが、アクシデントなく帰ってきています。

海難対応していく中で、多くの外国人の方に出会いました。国籍は様々ですが、みんな「ありがとう」を知っています。日本人が来たらありがとうと言おう！と教育されているかのように言ってくれます。たまにそこは「ごめんさいや」といふ時もあります。

とある外国船から救助のパスタン入船長を救助した時の出来事なのですが、現場についてすぐ状況を確認すると「イタイ、イタイ」と日本語で訴えかけてくるんです。お腹を押さえてみる「カズ、イタイ」と苦痛に顔を歪めながら。(私は、日本人でも外国人でも、ファーストコンタクトは自己紹介から)

搬送し始めても、なんの処置もできず、お腹をさすって空港に到着するのを待つことしか出来ませんでした。空港から一緒に救助車に乗って最寄りの病院へ、医師による治療が始まったので帰ろうとする

と、涙を流しながら「カズ、アリガトウ」と言葉をもらいました。今でも「イタイ」しか言わなかった人が、名前と感謝の言葉を伝えてくれたことは救助員として非常に嬉しかった思い出の一つです。

皆さんは「ありがとう」という言葉の意味を知っていますか？

語源は「有り難し」、あることが難しい、ある言葉として使っているそうです。そのため反対語は「当たり前」。なんだか日本語の難しさを感じてしまいますね。日々の出来事を当たり前に思わず感謝しながら過ごす。難しいですが大切なことです。

是非、皆さんも「ありがとう」を意識して使ってみるのもいいと思いますよ！

今私は約20年の救助隊業務を引退し、海上保安学校

に進学し、今春、晴れて海上保安学校に入校し、海上保安官のスタートラインに立つたわけです。

私が指導している学生は、年齢も幅広く、学歴、職歴、入庁目的も様々です。でも海上保安庁という組織を選んでくれた彼らを指導していくことは楽しく、それぞれの個性を伸ばしつつ知識を付与していくという教官という仕事にやりがいを感じています。

現在の若者は、個々の能力が高いのですが、仲間意識が薄いという傾向があります。チームワークというものが苦手のかなと感じています。社会において、それぞれの集団での活動が求められることが多いと感じていますので、そういった事を意識付けできる指導ができればというのが目標です。

是非、将来の選抜肢に海上保安庁を加えていただければうれしいです。

先日とある学生に声をかけられました！

「教官、これ中学生の頃に撮った写真、真ん中に私が入っていましたね！」

とスマホを見せてくれました。(こども禁止やぞ！)

「そこには初々しい学生が写っていました。私が今もここにいます。夢を持って前に進んできました。本当にありがとうございます。」

これからは若い世代の助けができるよう、成長していきたいと思っています。

私自身の話になりますが、私が高校を卒業し、新たな生活を始めた頃のことです。今は今でも鮮明に覚えています。出会った人々、聞いた言葉、見た風景、流れていた音楽など、どれも今の自分を形作っているのだと思います。

皆さんが努力し、成長してこられたことは何一つなく、家族、友人、恩師、同僚、先輩、後輩の助けを借りて前に進んでこられた。本当にありがとうございます。

最後にありますが、私がこまめに連絡するのは1人でできたことには一つ大きな喜びです。

この約半年間、皆さんは新たな環境の中で多くの経験をさせていただきました。この約半年間、皆さんは新たな環境の中で多くの経験をさせていただきました。

創立記念式典に続き、記念講演が行われました。講師は三原高校六十回生の久我アレキサンデル氏。久我氏は高校卒業後、岐阜経済大学(現・岐阜協立大学)、愛知県立大学に進学し、その後、岐阜経済大学に就職し、現在、同大学の経営学部長として活躍されています。

久我氏は、自身の経験から、学生時代に学んだことが、社会で生きていく上でどれだけ大切か、そして、努力することの尊さ、これらに価値観を皆さんに伝え、共有することが私たちの使命だ、というメッセージを込めて、講演を行いました。

「自分の心と直感に従って、勇気を持ちなさい。それらは何が本当にやりたいことなのか、既に知っているのだから、既に知っているのだから、既に知っているのだから。」

皆さんの未来が明るく輝かしいものであることを心から願っています。

今私は約20年の救助隊業務を引退し、海上保安学校

15回生の皆さんへ

15回生学年主任 宮尾 文明



淡路三原高校15回生の皆さん、元気で過ごしていきましょうか。

皆さんは今年2月、少しの不安を感じながらも大きな誇りを持って、本校を無事巣立っていきました。15回生の学校生活を振り返ると、多くの思い出が蘇ります。部活動で汗を流す姿、文化祭や体育会での一生懸命な取り組み、皆さんは学業のみならず、人間としての成長を遂げるために、多くの時間と努力を費やしてきました。その努力が今の皆さんを形作っているのだと思います。

皆さんが努力し、成長してこられたことは何一つなく、家族、友人、恩師、同僚、先輩、後輩の助けを借りて前に進んでこられた。本当にありがとうございます。

これからは若い世代の助けができるよう、成長していきたいと思っています。

私自身の話になりますが、私が高校を卒業し、新たな生活を始めた頃のことです。今は今でも鮮明に覚えています。出会った人々、聞いた言葉、見た風景、流れていた音楽など、どれも今の自分を形作っているのだと思います。

皆さんが努力し、成長してこられたことは何一つなく、家族、友人、恩師、同僚、先輩、後輩の助けを借りて前に進んでこられた。本当にありがとうございます。

これからは若い世代の助けができるよう、成長していきたいと思っています。

創立記念式典に続き、記念講演が行われました。講師は三原高校六十回生の久我アレキサンデル氏。久我氏は高校卒業後、岐阜経済大学(現・岐阜協立大学)、愛知県立大学に進学し、その後、岐阜経済大学に就職し、現在、同大学の経営学部長として活躍されています。

久我氏は、自身の経験から、学生時代に学んだことが、社会で生きていく上でどれだけ大切か、そして、努力することの尊さ、これらに価値観を皆さんに伝え、共有することが私たちの使命だ、というメッセージを込めて、講演を行いました。

「自分の心と直感に従って、勇気を持ちなさい。それらは何が本当にやりたいことなのか、既に知っているのだから、既に知っているのだから、既に知っているのだから。」

皆さんの未来が明るく輝かしいものであることを心から願っています。

今私は約20年の救助隊業務を引退し、海上保安学校

同窓会に入会して

近藤 優 15回生 村上 茉那 15回生

私は淡路三原高校を卒業し、進学をした同級生より先に社会人になりました。何かもが初めて新鮮さがある一方、高校生の時と違って自分の全ての行動に責任感を持たなくてはならないという思いを持ち、日々頑張っています。

私は4月から建設業の職業に就き、先輩の方から指導していただき一生懸命努力をしていく中で、指導していただいたことを感謝しています。

私にとって高校3年間は本当に充実した学校生活だと思っています。中学の友達と離れ、新しく沢山の友達ができ、今まで出来なかった事が出来たり、今後の事について考えなければいけないなど、高校生活でたくさんの変化があったと感じます。中でも高校3年生の時は進路について考え、沢山の悩みがありました。自分が今やりたい事は何か、将来何になりたいのか、大卒には行った方がいいのか、最後の最後まで悩みました。そんな時に、親や担任の先生、友達に相談したことで、進路を決める事が出来ました。進路が決まったからは面接や筆記試験の練習を沢山行いました。私は進路に悩んでいた期間が長かった為、就職を早くから決めていた子達より出遅れていたので、就職先について沢山の先生方や担任の先生が最後まで応援してくださいましたので、希望していた就職先に勤める事が出来ました。

社会人として未熟な点は多いですが、高校生活で学んだ事、経験した事を沢山生かして、成長した姿をお見せ出来るように今後も頑張っていきたいと思っております。

私自身の話になりますが、私が高校を卒業し、新たな生活を始めた頃のことです。今は今でも鮮明に覚えています。出会った人々、聞いた言葉、見た風景、流れていた音楽など、どれも今の自分を形作っているのだと思います。

皆さんが努力し、成長してこられたことは何一つなく、家族、友人、恩師、同僚、先輩、後輩の助けを借りて前に進んでこられた。本当にありがとうございます。

これからは若い世代の助けができるよう、成長していきたいと思っています。

私自身の話になりますが、私が高校を卒業し、新たな生活を始めた頃のことです。今は今でも鮮明に覚えています。出会った人々、聞いた言葉、見た風景、流れていた音楽など、どれも今の自分を形作っているのだと思います。

皆さんが努力し、成長してこられたことは何一つなく、家族、友人、恩師、同僚、先輩、後輩の助けを借りて前に進んでこられた。本当にありがとうございます。

これからは若い世代の助けができるよう、成長していきたいと思っています。

私自身の話になりますが、私が高校を卒業し、新たな生活を始めた頃のことです。今は今でも鮮明に覚えています。出会った人々、聞いた言葉、見た風景、流れていた音楽など、どれも今の自分を形作っているのだと思います。

皆さんが努力し、成長してこられたことは何一つなく、家族、友人、恩師、同僚、先輩、後輩の助けを借りて前に進んでこられた。本当にありがとうございます。

これからは若い世代の助けができるよう、成長していきたいと思っています。

今私は約20年の救助隊業務を引退し、海上保安学校



令和六年度 創立記念式典記念講演 五月二日(金)午後

創立記念式典に続き、記念講演が行われました。講師は三原高校六十回生の久我アレキサンデル氏。久我氏は高校卒業後、岐阜経済大学(現・岐阜協立大学)、愛知県立大学に進学し、その後、岐阜経済大学に就職し、現在、同大学の経営学部長として活躍されています。

久我氏は、自身の経験から、学生時代に学んだことが、社会で生きていく上でどれだけ大切か、そして、努力することの尊さ、これらに価値観を皆さんに伝え、共有することが私たちの使命だ、というメッセージを込めて、講演を行いました。

「自分の心と直感に従って、勇気を持ちなさい。それらは何が本当にやりたいことなのか、既に知っているのだから、既に知っているのだから、既に知っているのだから。」

皆さんの未来が明るく輝かしいものであることを心から願っています。



吹奏楽部

部員数:30名/1年:12名・2年:10名・3年:8名



放送部

部員数:5名/1年:1名・2年:2名・3年:2名



メディア総合部

部員数:31名/1年:11名・2年:9名・3年:11名



ボランティア同好会

部員数:27名/1年:13名・2年:11名・3年:3名



食物部

部員数:31名/1年:5名・2年:2名・3年:24名



書道部

部員数:7名/1年:1名・2年:2名・3年:4名



自然科学部

部員数:8名/1年:4名・2年:1名・3年:3名



音楽部

部員数:2名/3年:2名



美術部

部員数:12名/1年:4名・2年:5名・3年:3名



ダンス部

部員数:27名/1年:10名・2年:8名・3年:9名



郷土部

部員数:18名/1年:8名・2年:7名・3年:3名



茶華道部

部員数:10名/1年:7名・3年:3名



和太鼓部

部員数:7名/1年:5名・3年:2名



卓球部

部員数:11名/1年:4名・2年:2名・3年:5名



陸上競技部

部員数:43名/1年:16名・2年:16名・3年:11名



ソフトボール部

部員数:9名/1年:1名・2年:8名



男子バスケットボール部

部員数:28名/1年:12名・2年:7名・3年:9名



女子バスケットボール部

部員数:19名/1年:7名・2年:6名・3年:6名



サッカー部

部員数:42名/1年:17名・2年:19名・3年:6名



男子ソフトテニス部

部員数:32名/1年:15名・2年:8名・3年:9名



女子ソフトテニス部

部員数:15名/1年:3名・2年:8名・3年:4名



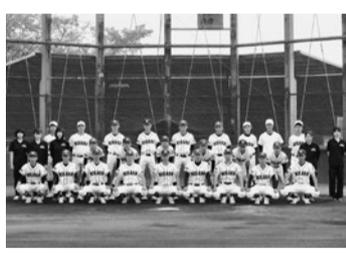
男子バレーボール部

部員数:25名/1年:5名・2年:9名・3年:11名



女子バレーボール部

部員数:10名/1年:4名・2年:3名・3年:3名



野球部

部員数:30名/1年:9名・2年:6名・3年:15名



柔道部

部員数:5名/1年:3名・2年:2名



剣道部

部員数:9名/1年:3名・2年:1名・3年:5名



水泳部

部員数:5名/1年:3名・2年:1名・3年:1名



■陸上競技部
第77回全国高等学校
陸上競技対校選手権大会
近畿地区予選会
男子やり投げ 出場
田村 權生
女子やり投げ 出場
柏木 瑞希
女子ハンマー投げ 出場
田中 菜月
藤井 佳菜

■近畿大会
水泳部
第78回近畿高等学校
選手権水泳競技大会
男子100m背泳ぎ 出場
津田 琉生
男子200m背泳ぎ
津田 琉生
6位
女子50m自由形
村上 遥香
8位
女子100m自由形
村上 遥香
7位

■全国大会
水泳部
第92回日本高等学校
選手権水泳競技大会
男子200m背泳ぎ 出場
津田 琉生
女子50m自由形 出場
村上 遥香
女子100m自由形 出場
村上 遥香



■県大会
水泳部
第77回兵庫県高等学校
陸上競技対校選手権大会
男子やり投げ
5位 田村 權生
女子棒高跳び
6位 輪 美咲
女子ハンマー投げ
4位 藤井 佳菜
女子やり投げ
3位 田中 菜月
4位 柏木 瑞希

■陸上競技部
第76回兵庫県高等学校
対校選手権大会
女子2年棒高跳び
1位 島田 侑奈

■県大会
水泳部
第77回兵庫県高等学校
選手権水泳競技大会
男子100m背泳ぎ
4位 津田 琉生
男子200m背泳ぎ
2位 津田 琉生
女子50m自由形
村上 遥香
3位 村上 遥香
女子100m自由形
村上 遥香
5位

■県大会
水泳部
第77回兵庫県高等学校
選手権水泳競技大会
男子100m背泳ぎ
4位 津田 琉生
男子200m背泳ぎ
2位 津田 琉生
女子50m自由形
村上 遥香
3位 村上 遥香
女子100m自由形
村上 遥香
5位



■県大会
水泳部
第77回兵庫県高等学校
陸上競技対校選手権大会
男子やり投げ
5位 田村 權生
女子棒高跳び
6位 輪 美咲
女子ハンマー投げ
4位 藤井 佳菜
女子やり投げ
3位 田中 菜月
4位 柏木 瑞希

熱戦